

神社の社(四十五)

ホトトギスおばあちゃん

片柳 茂生

春、それは躍動する季節です。樹々は地中から水を得、若葉を広げ、虫は地中より這いだし、南の島々から子育てのために鳥はやって来る。

春は自然界で一番賑やかな季節を迎えます。南方からは様々な野鳥がやって来ます。クロツグミ・オオルリ・キビタキ……。そんな中で一番最後に御岳山に来るのがホトトギスです。そんなホトトギスの逸話を一つ……。もう十何年も前の話です。五月の連休を過ぎると決まって、「もうホトトギスは来ましたか？」という電話の問い合わせがビクターセンターに来ます。それも毎年の事です。電話の主は



イラスト：紺野美織

誰だか解りません。ただ品のあるおばあちゃんの声なのです。「はい、何日前に声を聞きました」と答えると、その数日後に老夫婦がビクターセンターに来るのです。そして、「ホトトギスの声を聞きました。有難うございます。」と言って帰って行くのです。そんな事が何年続いたでしょう。毎年訪れるようになったその老夫婦は、今では私たちにとって忘れられない存在になっていました。そんな老夫婦の事をいつの間にかホトトギスおばあちゃんと呼ぶようになってたのです。

ところが、ある年からホトトギスおばあちゃんの電話が来なくなりました。何かあったのでは？と感じました。

そして三年が経ち、再びホトトギスおばあちゃんからの問い合わせの電話が来ました。ご無事でお過ごされたのだと安心しました。しかしその年、ビクターセンターに来たのはおばあちゃん一人でした。旦那さんは亡くなられ、その後気落ちしてあまり外に出たくなかったのだそうです。でもそれではいけないと思ひ直し、旦那さんの好きだった

ホトトギスの声をもう一度聞こうと御岳山に来たのだそうです。

その二年後ホトトギスおばあちゃんは、一冊の本を携えてビクターセンターにやって来ました。ご夫婦の今までに詠んだ俳句の句集だったのです。その時初めて知りました。老夫婦は御岳山で聞いたホトトギスの句を創りたくて毎年やって来たのだと。そんなおばあちゃんも、その年を限りに訪れる事はなくなりました。

毎年、ホトトギスの声を聞くとおばあちゃんの顔が今でも思ひ浮かんでくるのです。

ケーブルカー全面運休

2016年(平成28年)1月18日(月)から3月末までケーブルカーの巻上設備の更新工事により、全面運休となります。ケーブルカーの安心運行の要である機器で、前回更新を行った平成9年から17年ぶりの工事となり、現在各鉄道会社で採用されているインバーター方式に更新されます。

ご参拝の皆様には大変ご不便、ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



表紙写真 鶴巻育子

「奥の院への道」

奥の院までの道のり。秋の優しい太陽の光が色づく葉っぱを照らしキラキラと輝く光景は、秋の御岳山の宝物です。

あとがき

今号でご紹介した写真家・鶴巻育子さんの写真とコラムを春号において連載致します。美しい御岳山の風景をお楽しみに。多摩湖町御嶽講清水様 鶴巻育子様、齋藤慎一先生、玉稿をありがとうございました。

平成二十七年 九月二十九日発行

〔年十二回発行・非売品〕

編集 武蔵御嶽神社

TEL 〇四六(七)八五〇〇

FAX 〇四六(七)九七四一

http://www.musashimitatejinja.jp/

印刷 (株)成和印刷